

浸水被害低減効果一覧

令和8年9月20日～9月21日 レベル4大雨危険警報（台風25号）

下水道施設名	行政区	排水方式	施設容量 (m³)	貯留量 (m³)	貯留率 (%)
① 新羽末広幹線	港北、鶴見	ポンプ排水	410,000	179,509	44%
② 小机千若雨水幹線	緑、神奈川	ポンプ排水	256,000	575,875	100%
③ 新羽調整池	港北	ポンプ排水	89,000	10,800	12%
⑤ 星川雨水調整池	保土ヶ谷	ポンプ排水	41,700	8,433	20%
⑥ 飯島雨水調整池	栄	ポンプ排水	15,600	15,600	100%
⑦ 蒔田雨水調整池	南		22,000	19,700	90%
⑧ 江川雨水調整池	都筑		17,000	15,150	89%
⑨ たちばなの丘雨水調整池	旭		7,000	4,530	65%
⑩ 金井雨水調整池	栄		6,000	4,600	77%
⑪ 長津田地区東雨水調整池	緑		54,000	10,670	20%
⑫ 長津田地区西雨水調整池	緑		19,000	2,170	11%
⑬ 相沢雨水調整池	瀬谷		56,000	33,560	60%
⑭ 北綱島第二雨水幹線	港北		72,000	38,640	54%
⑮ 獅子ヶ谷雨水幹線	鶴見		6,500	4,550	70%
⑯ 戸部雨水幹線	西		11,000	260	2%
⑰ 万世雨水幹線	中、南		21,000	20,250	96%
⑱ 大岡川右岸雨水幹線	南		18,000	17,830	99%
⑳ 初音雨水幹線	南		7,500	7,450	99%
㉑ 初音雨水支線	南		2,700	2,700	100%
㉒ 東希望ヶ丘雨水幹線	旭		40,000	260	1%
㉓ 南希望ヶ丘雨水幹線	旭		8,000	90	1%
㉔ 二俣川1号雨水幹線	旭		13,000	140	1%
合 計			—	972,767	—

河川施設名	行政区	排水方式	施設容量 (m³)	貯留量 (m³)	貯留率 (%)
① 鳥山川遊水地	神奈川	ポンプ排水	44,000	1,987	5%
③ 今井川地下調節池	保土ヶ谷	ポンプ排水	178,000	49,996	28%
④ 舞岡川遊水地	戸塚	ポンプ排水	55,200	45,750	83%
⑤ 宇田川遊水地	戸塚	ポンプ排水	65,000	51,250	79%
⑥ 和泉遊水地	泉		126,000	5,590	4%
⑦ 宮沢遊水地	瀬谷		48,650	8,110	17%
⑧ 平戸永谷川遊水地	港南		37,900	39,746	100%
⑨ 名瀬川遊水地	戸塚		29,400	10,669	36%
⑩ 阿久和川遊水地	瀬谷		27,900	14,123	51%
合 計			—	227,221	—
総 計			—	1,199,988	—

25mプールで換算： **3,200** 杯分を貯留

※25mプール容量イメージ：幅15m×深さ1m×長さ25m＝375m³

- ポンプ排水方式の下水道施設については、最下流のポンプ施設による吐出量を集計した値を記載しています。
また、ポンプ排水を行いながら貯留しているため、貯留容量を超える値になる場合があります。
ポンプ排水方式の河川施設については、対象期間内に排水作業を実施し、複数回貯留した場合は、行を分けて記載します。
- その他の排水方式については、ピーク水位の計測結果から算出した貯留量を記載しています。
※上記1、2の算出方法による値のため、浸水被害低減量は参考値です。
- 貯留実績があった施設のみ貯留量を記載しています。